

春ノ翔全勝優勝

紙相撲新聞

第151回本場所
十日目、千秋楽号

編集・発行
日本紙相撲協会

新入幕千代鈴堂々十勝 美空まさかの千秋楽休場

【第百五十一回本場所十日目、千秋楽】

第151回紙相撲本場所は前開催日より3週間が過ぎた6月28日、少し肌寒さを感じる生憎の雨模様のもと、最終開催日となり幕内の十日目と千秋楽に十両も千秋楽の取り組みが練馬国技館にて粛々と取り行われた。

コロナ禍の影響で途中2ヶ月半の延期もあり紙相撲ファンならびに協会関係者も

係者も気をもむなか、半年の時間を要して迎えた本場所の千秋楽。休場力士が相次いだこともあり、重苦しい土俵となつた今場所、両横綱の休場を補わんとばかりに奮闘した春ノ翔が大関の責務を果たし、最後まで抜群の安定感を見せ土付かずの全勝で賜杯を手にした。

新入幕ながら対抗馬となり千秋楽まで優勝争いを演じた千代鈴は、その優勝した大関に敗れただけで堂々の10勝を挙げると共に三賞も全て受賞して潜在能力の高さを示した。その他は佐賀ノ海が技能賞を受賞した。



↑美空富士のまさかの休場により、千秋楽結びの一番に繰り上がった春ノ翔と佐賀ノ海の一戦。佐賀の引き技をものともせず、一気に寄り切り全勝優勝を成し遂げた。



↑十日目、横綱初挑戦の千代鈴は臆することなく果敢に押し込み、美空のお株を奪う力強い寄り身で相手を押込んで初金星。三賞すべての獲得をほぼ確実なものにした。

第151回本場所星取表

美空富士	横綱	若乃	嶋	ヤヤヤヤヤヤ
春ノ翔	大関	魁	電	○●●●●●●●●
佐賀ノ海	関脇	源氏	山	○●●●●●●●●
出羽	小結	月	山	○●●●●●●●●
若大	前1	支那	虎	○●●●●●●●●
英神	前2	磯白	昇	○●●●●●●●●
朱袋	前3	四	光	○●●●●●●●●
雀湖	前4	生駒	嶋	○●●●●●●●●
剣電	前5	山	風	○●●●●●●●●
超	前6	虎	剛	○●●●●●●●●
鳥帽子	前7	夢	力	○●●●●●●●●
玄武	前8	角武	蔵	○●●●●●●●●
剛勇	前9	若	巨	○●●●●●●●●
千代	前10	富士	花	○●●●●●●●●
寶蔵	前11	水	晶	○●●●●●●●●
海浪	前12	伊達	富	○●●●●●●●●
鳥古	前13	阿江	王	○●●●●●●●●
錦	前14	鬼ヶ	嶽	○●●●●●●●●
ヶ	前15			
鹿	十1	龍	動	○●●●●●●●●
鹿	十2	太	鳳	○●●●●●●●●
葵	十3	若	佑	○●●●●●●●●
若	十4	櫻	雪	○●●●●●●●●
日向	十5	喜	郷	○●●●●●●●●
初春	十6	桃	乃	○●●●●●●●●
雷	十7	紫	洲	○●●●●●●●●
雲	十8	山	城	○●●●●●●●●
天	十9	魁	刃	○●●●●●●●●
大	十10	三	王	○●●●●●●●●
琴	十11	冬	鷹	○●●●●●●●●
電	十12	冬	丹	○●●●●●●●●
電	十13	菊	里	○●●●●●●●●
電	十14	紅	盛	○●●●●●●●●
西	十15	雪	若	○●●●●●●●●

優勝	殊勲賞	敢闘賞	技能賞	幕下	十両	三段目	二口	序
春ノ翔	千代鈴	千代鈴	佐賀ノ海	千代鈴	西勢ノ里	赤安	赤安	赤安
全勝	十勝一敗	十勝一敗	十勝三敗	十勝三敗	八勝三敗	五勝	五勝	五勝
(2)	(初)	(初)	(初)	(初)	(初)	(初)	(初)	(初)



瞬ノ翔が勝利するとその瞬間優勝が決まる注目の日目が始まった。佐賀ノ海が2敗の左差星対決で四季嶋の左差



佐賀海○(押し倒し)●四季嶋